

今週のメニュー

■トピックス

◇土曜学習応援団「こども霞が関見学デー」に出展参加 ～文部科学省、8月3日～

■随想

◇ららら、プラスチック (11) みどりのそよ風とニホニウム

前 日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村 小太郎

■編集後記

■トピックス

◇土曜学習応援団「こども霞が関見学デー」に出展参加

～文部科学省、8月3日～

8月3日、東京 霞が関の文部科学省にて、「こども霞が関見学デー」が開催され、塩ビ工業・環境協会（VEC）は、土曜学習応援団が主催するポスター出展に参加しました。

「こども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした府省庁等が連携し、省内見学や体験活動を通して、子供たちに広く社会を知ってもらうとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的とした取組です。

この「こども霞が関見学デー」に土曜学習応援団も出展参加しました。土曜学習応援団は文部科学省が進めている取組みで、子供たちの豊かな学びを支える事を目的に、民間企業・団体・大学等が協力して多種多様な魅力あるプログラムを準備し、学校や教育委員会に提供、実施されています（出前授業や施設見学等）。



土曜学習応援団

VECは文部科学省2Fロビーで開催されたポスター出展に参加しました（企業・団体=30）。VECのポスターでは協会の紹介と身近な塩ビ製品の紹介、出前授業の取組み、SDGs・リサイクル等を通じて塩ビの特長を紹介しました。特に、親子連れの出場者への訴求点を絞り込み、できるだけ読みやすい文章、大きな文字になる様に工夫しています。また、出前授業のポスターでは『楽しく学べる』感を表現するのに苦労しました。



（写真 VEC ポスター出展）

当日、文部科学省5Fでは出前授業（企業・団体=10）が開催されたり、“大臣室へようこそ”といったイベントもあり、各大臣とお話しができたとか…。

また、3F の体験活動コーナーでは、スポーツ庁の主催で車いすテニス体験会、パラアーチェリー体験会、ブラインドサッカー体験会、スポーツ用義足体験会などが、文部科学省の主催で認知症を知るためのカレープロジェクト、一家に一枚ポスター（日本科学未来館）、拡張現実熔接体験などが、更には文化庁の主催でアイヌ民族文化紹介、マジック体験、子供茶会、バレエに挑戦、囲碁教室なども開催されました。また、珍しいものとして、生魚（鯖）からアニサキスを取り出して、親子観察会を開催していました（目黒寄生虫館コーナー）。

今年のこども霞が関見学デーを通して、多くの親子が夏休みのひと時、日ごろ体験できない経験を楽しんでいました。VEC は広く塩ビについて知っていただく機会として、来年もこども霞が関見学デーに参加したいと考えています。

尚、WEB で動画を配信しています。是非、ご覧になってください。

https://youtu.be/umRIzhz_MDM

塩ビ工業・環境協会 VEC

私たちはプラスチックの 1 つであるポリ塩化ビニル（塩ビ、PVC）を作っている会社が集まって生まれた団体です。塩ビの環境と安全についての調査・研究や、塩ビについての正しい理解を広めるための活動をしています。

塩ビは丈夫で長持ち、かたいものからやわらかいものまで、色々な製品になってわたしたちの暮らしを支えています。

使った後もたくさんリサイクルされていて、環境に優しいプラスチックです。身のまわりで塩ビ製品がどのくらい活躍しているか見つけてみてください。

塩ビ工業・環境協会（略称 VEC）
 英名: Vinyl Environmental Council | 設立: 1998 年 5 月 26 日
 〒104-0033 東京都中央区新富 1-4-1 (丸の内線 4F)
 TEL: 03(3297)5601 FAX: 03(3297)5783 ホームページ: <https://www.vec.jp/>

プラスチック出前授業

プラスチックの原料や製品にふれながら、実験（5 種類のプラスチックを見分ける実験・消しゴムをつくる実験）を通して、その性質の違いを知ること、いろいろなプラスチックへの理解を深めることができます。

対象学年	小学校 4 年生、中学校 1~3 年生、高校 1~3 年生	必要な設備・備品	実験のできる教室（実験の備品によって変わります）
実施エリア	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県（その他は要相談）	連絡先	塩ビ工業・環境協会 総務部 (TEL:03-3297-5601) まで
所要時間	50~70 分	参加費	すべて無料

塩ビとは... ポリ塩化ビニル (Polyvinyl Chloride) のこと。代表的な汎用プラスチックの一つです。

塩ビが使われる理由

- 長持ちする**: 塩ビは強い力が加っても壊れにくく、紫外線の影響を受けず、虫食いや腐食に強く、さらにもっとも強く耐えるので、長年にわたって使用することができます。
- 加工しやすい**: 塩ビは柔らかい成形加工から、強い熱で溶かす、いろいろな加工ができることができます。透明があり、さらに印刷や着色がしやすいためです。
- リサイクルしやすい**: 塩ビは再生力があるため、古い製品は資源として再び製品にリサイクルされます。また、柔軟なフィルムは使用済みに合わせてからシートに再生されます。

塩ビの社会貢献

- 塩ビパイプで安全な水を届ける
- 使い終わった道具から新たな商品づくり
- with コロナの生活を支える塩ビ製品
- 病院などで医療の現場で活躍
- 無電圧でLED照明に活用
- 断熱材でエネルギーのロスを抑える
- 塩ビをつくる時に出るCO₂が少ない
- 寿命が長く天然資源の消費を抑える

(図 展示された VEC ポスター)

◇ららら、プラスチック (11) みどりのそよ風とニホニウム

前 日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村 小太郎

2020年4月に最初の緊急事態宣言が発令され新型コロナウイルス感染症も、本年5月に感染症法における第5類に移行し、季節性インフルエンザ等と同じ扱いとなった。これにより、まだまだ完全とは言えないものの、私たちの生活も3年ぶりの平常を取り戻しつつある。

そして、若い頃から私が打ち込んでいる合唱の世界でも・・・どこの団でも団員数は減り、さらには解散を余儀なくされた団も少なくはないが・・・ようやく以前のような演奏活動ができるようになり、地域の合唱祭等のイベントも復活してきている。

そんなイベントの一つに、私も実行委員として運営に関わっている”コーラスフェスティバル in 和光”という合唱祭がある。和光市文化センターのサンアゼリア大ホールを会場に、和光市（埼玉県）と近隣の市で活動する合唱団による演奏会で、今年で12回目になるが、毎回演奏会の最後には、和光市ゆかりの童謡詩人 清水かつらが作詞した「みどりのそよ風」を、会場の全員で歌うのが恒例になっている。

清水かつら（1898年～1951年）は、25歳から53歳で亡くなるまでの28年間を現在の和光市（当時は新倉村・白子村）で過ごしていたことから、東武東上線・東京メトロ有楽町線の和光市駅前には彼が書いた「みどりのそよ風」、「靴が鳴る」、「しかられて」の歌詞を刻んだ石碑が建てられている（写真1）。



写真1. 清水かつらの歌碑（和光市駅前にて筆者撮影）

そして、この歌碑の横には、大きな元素周期表のモニュメントが建てられている（写真2）。



47 Ag 銀 Silver	48 Cd カドミウム Cadmium	49 In インジウム Indium	50 Sn スズ Tin	51 Sb アンチモン Antimony
79 Au 金 Gold	80 Hg 水銀 Mercury	81 Tl タリウム Thallium	82 Pb 鉛 Lead	83 Bi ビスマス Bismuth
111 Rg レントゲニウム Roentgenium	112 Cn コペルニシウム Copernicium	113 Nh ニホニウム Nihonium	114 Fl フレロビウム Flerovium	115 Mc モスコビウム Moscovium
64 Gd ガドリニウム Gadolinium	65 Tb テルビウム Terbium	66 Dy ジスプロシウム Dysprosium	67 Ho ホルミウム Holmium	68 Er エルビウム Erbium

写真2. 元素周期表のモニュメント（和光市駅前にて筆者撮影）

和光市にメインキャンパスを置く理化学研究所（理研）では、2004年に森田浩介博士等の研究チームが原子番号 113 の元素を発見し、2015年には国際純正・応用化学連合（IUPAC）により新元素として認定され、2016年には「ニホニウム」（Nh）と命名されている。このモニュメントは、これを記念して設置されたもので、113番目のNhの部分強調されている。また、和光市駅から理研に続く徒歩15分ほどの道は「ニホニウム通り」と名付けられている。

私はかつて、この理研に企業からの出向者として6年間在籍していた。といっても研究者としてではなく、技術の分かる事務方として、研究者と理研を所管していた科学技術庁（現 文部科学省）とのパイプ役として1995～2001年まで務めていた。

その当時、森田さんは若手の研究者で、私とは呑み仲間でもあった。彼の研究では、一度実験に取りかかると約1週間は地下の実験施設に缶詰状態になる。そして、その実験期間が明けると、地上に出てきて、呑み仲間と痛飲する。今はどうか知らないが、当時の理研では、異分野の研究者同士、あるいは研究者と事務方との交流を目的に、金曜の夜等にはキャンパス内の食堂や喫茶室でお酒が安く飲めるようになっていた。私も職場の上司に連れられて夜の喫茶室で酒を飲んでいるときに実験明けの森田さんと出会い、その後も何度となく一緒に呑んでいるが、彼は酔うと「ボクは、必ず新しい元素を発見します！」と宣言していた。そして、「新元素の名前はリケニウムにするか、それともジャポニウムするか迷っている・・・」と言っていたのを思い出す。結局「ニホニウム」になったのですね、森田さん。今更ですが、「おめでとう！」



写真3. 夜の理研食堂にて（2001年9月撮影）
左から2人目が森田博士、中央が筆者

今回は、プラスチックの話題はありません。済みません！

みどりのそよ風 1948年（昭和23年）

みどりのそよ風 いい日だね
蝶蝶（ちょうちょ）もひらひら 豆のはな
七色畑に 妹の
つまみ菜摘む手が かわいいな

みどりのそよ風 いい日だね
ぶらんこゆりましょ 歌いましょ
巣箱の丸窓 ねんねどり
ときどきおつむが のぞいてる

（作詞:清水かつら、作曲:草川信）

※歌詞は5番までであるが、3番以下は割愛した。

■ 編集後記

PVC(塩ビ素材)の特長を活かした製品のコンテスト PVC Award 2023

～大賞 100万円！ 応募は2023年9月30日(土)まで～

PVC Award 実行委員会では、「生活を豊かにするPVC製品」をテーマに、PVC(塩ビ素材)の特長を活かした魅力ある製品を公募し表彰するコンテスト『PVC Award 2023』を開催。2023年7月1日(土)より作品の募集を開始しました。応募期間は9月30日(土)までです。

PVCは、省資源で加工性、印刷性、耐久性、難燃性、耐腐食性、リサイクル性などに優れたプラスチック素材です。このPVCの特長を活かして、製品に機能を付与することで、私たちの生活の利便性向上やリサイクル、医療・福祉、安全、防災など社会に貢献している製品を募集します。

応募していただいた作品の中から選考により、大賞(副賞100万円)、優秀賞(副賞10万円)、特別賞(副賞5万円)、入賞(副賞2万円)を決定します。また、入選作品を中心とした応募作品の展示会を東京と名古屋で開催します。奮ってのご参加をお願いします。

募集要項、応募方法、スケジュール等の詳細は公式ホームページ(<http://www.pvc-award.com>)でご確認ください。

(PVC Award 実行委員会)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <https://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp